

LS ランチョンセミナー

「認知関連行動アセスメント」 を ST はどう使うか

2024 年 6 月 21 日 (金) 11:50~12:50

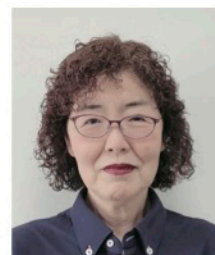
第 3 会場 (501) 神戸国際会議場

共催：第 25 回日本言語聴覚学会 in 兵庫・神戸 / 株式会社 三輪書店



座長：種村 純

(びわこリハビリテーション専門職大学 言語聴覚療法学科 学科長)



演者：森田 秋子

(鶴飼リハビリテーション病院 リハビリテーション部長)

コミュニケーションの専門家である言語聴覚士は、前提となる認知能力をとらえられなければならない。
その人が何を考え、どこまでわかっているのか。
どうしたいと考え、それを自分で決めることができるのか。
人と関わり、生きるために必要な認知能力は容易に評価できない。
しかし言語聴覚士はその人との会話や観察を通じて、認知能力を理解することができなければならない。
この力を磨くために「認知関連行動アセスメント」が手がかりになる。
本セミナーで「認知関連行動アセスメント」を ST はどう使うかを示したい。



好評書

日常生活から高次脳機能障害を理解する
認知関連行動アセスメント&アプローチ 第2版

森田秋子 編著

定価 3,960 円 (本体 3,600 円+税 10%)

B5 判 184 頁 オールカラー

ISBN 978-4-89590-788-0



三輪書店

